

早稲田大学 スポーツ科学部 小論文 講評

出題形式	指示型
試験時間	90分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
じゃんけん「キュー」という手を新たに加えてゲームを考案する	昨年度までの、課題文を読んで意見論述する形式から、課題文がない指示型の問題に大きく変更しており、過去問演習で対策していた受験生は困惑したことであろう。「キュー」を新たな手として組み込み、新しいルールを考案できたかどうか肝となる。ただ、どうしても浮かばなかった場合、「キュー」をリセットの手として組み込んでいく方法も考えられる。前者の方が高得点になることは明白だが、苦肉の策として後者で乗り切るのも仕方ないがないと言える。よいルールが浮かばなかった場合でも、とにかく形を整え、601字以上は埋めて、他の科目につなげたい。尚、模範は「新たな手」として組み込む方法で論じたので、参考にしてほしい。	標準

〔総合コメント〕

確かに形式が大きく変わり、一見スポーツとは関係のない内容のように思われるが、新たなゲーム考案という視点に立てば、スポーツのルール作りに通じる内容とも言える。本学部は、長年、スポーツに関する課題文を出してきたので、本年度の新形式が来年に踏襲されるとは限らない。従来通り、スポーツに関する専門知識を得つつ、あらゆる形式の設問パターンにふれることが重要と言える。